

# What's up,

# OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

【Vol. 64】2018年6月発行

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～  
【姫島村/日出町】



(姫島村)  
アサギマダラ



(姫島村)  
姫島海水浴場



(日出町)  
回天神社



(日出町)  
豊後別府湾ちりめん

## 世界温泉地サミットが開催されました！！

世界各国の温泉地のリーダーや研究者等が一堂に会し、温泉の活用による地域発展の可能性について議論する、「世界温泉地サミット」が5月25日～27日に別府市のビーコンプラザで開催されました。

25日には国内温泉自治体の首長等が参加し、環境省主催の第3回全国温泉地サミットが行われました。終了後には、世界温泉地サミット・全国温泉地サミット共催の歓迎レセプションが行われ、国内外から参加された約300名の方々に大分県の山海の幸やお酒を楽しんでいただきました。



メインの26日は世界16カ国17地域の温泉地のリーダーをはじめ、国内の温泉地の代表や研究者等、約1,000人が参加し、世界温泉地サミット本体会議が行われました。前国連世界観光機関アフィリエイトメンバー部門長のヨランダ・ベルドモ氏による基調講演を皮切りに、海外温泉地の代表による事例発表を行いました。



広瀬知事(実行委員会会長)による主催者挨拶



中川環境大臣による来賓挨拶



ヨランダ・ベルドモ氏による基調講演



ジェローム・フリポ氏(フランス)による「観光」の事例発表



アーサ・プリンヨルスドットティル氏(アイスランド)による「エネルギー」の事例発表



マッシモ・サビオン氏(イタリア)による「医療・健康・美容」の事例発表

午後からは、「観光」「医療・健康・美容」「エネルギー」の分科会に分かれ、議論の深掘りを行いました。本体会議の最後には、本サミットの成果として、「世界温泉地サミット宣言」を採択しました。



分科会「観光」



分科会「医療・健康・美容」



分科会「エネルギー」

27日はエクスカーションとして、国内外の参加者を対象に、大分県内の温泉を活用した地域資源等の視察を実施しました。



観光コース



医療・健康・美容コース



エネルギーコース



ONSEN・ガストロノミーウォーキングコース

また、サミット期間中、県内大学の留学生の皆さんに、海外参加者の通訳としてお手伝いしていただきました。



さらに、国内のメディアはもとより、海外メディアにもサミットの議論の様子や県内の観光資源等の取材をしていただき、来年のラグビーワールドカップや2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、大分県を広く世界にPRする絶好の機会となりました。

本県も含めた国内外の温泉地が今回のサミットで得たネットワークや活用事例を活かし、温泉地の発展に向けた取組を行っていくことが期待されます。

【観光・地域振興課】

## 駐日各国大使が知事を表敬訪問しました

パキスタン、スイス、オーストリアの駐日大使が知事を表敬訪問されましたのでご紹介します。



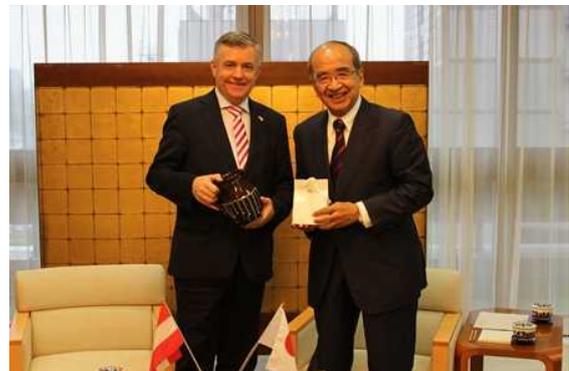
5月8日に、駐日パキスタン大使のアサド・マジド・カーン閣下がAPUでの講義のため来県され、知事を訪問しました。カーン大使はAPUのキャンパス環境について「非常に多様性に富んでおり、学生も熱心で、感銘を受けた」とし、大分県とパキスタンとの経済交流等について知事と意見を交換されました。カーン大使は学生時代に九州に住んでおられたことがあり、大分県を28年ぶりに再訪できて嬉しい、とも語ってくださいました。



5月19日に、駐日スイス大使のジャン＝フランソワ・パロ閣下が大分市のホストタウン登録をお祝いするため来県され、知事を訪問しました。大分県とスイスの人的交流、文化的交流をより活発にし、どのように関係を発展させていくか等について、懇談されました。大分国際車いすマラソンにスイスの有名選手が多数参加していることもあり、パロ大使は今年の大会を観戦するため、再度秋に来県して下さるそうです。



5月30日には、駐日オーストリア大使のフーベルト・ハイッス閣下が来県され、知事を訪問しました。知事とは芸術や森林開発の分野における協力の可能性等について意見を交わしました。また、東京からオーストリアへの直行便が再開したとのことで、ぜひ大分からもオーストリアを訪れて欲しいとのことでした。ハイッス閣下は知事表敬訪問後、別府アルゲリッチ音楽祭のコンサートを鑑賞されました。



## カメルーンの名ショナルデー祝賀会が中津江で開催されました



5月20日はカメルーン共和国の名ショナルデー(建国記念日)です。

日本でも毎年カメルーン大使館主催の祝賀会が開催されていますが、今年初めて日田市中津江の鯛生スポーツセンターを会場として開催されました。カメルーンからは駐日カメルーン特命全権大使であるピエール・ゼンゲ閣下が主催者として日田市を訪れ、祝賀会に先立って、不屈のライオン像の横で記念植樹を行いました。

祝賀会には大分カメルーン友好協会の横山会長を始めとする来賓や、多くの日田市民が集まり、大変盛大な催しとなりました。会場内では牛肉のンドレ、揚げプランテン等のカメルーン料理もふるまわれ、ステージでは津江小学校生からの花束贈呈や歌の披露、チェーンソーアートなどのアトラクションが行われ、祝いの場に花を添えました。



## ラグビーワールドカップ開催まであと500日を切りました！

5月19日(土)に大分駅北口広場でラグビーワールドカップ2019日本大会開催の500日前を記念して、「おおいたラグビーミニファンゾーン2018」を開催しました。

当日は、12時からオープニングアクトとして日本の伝統芸能の庄内神楽が披露され、その後ドラマ「スクールウォーズ」で熱血先生役を演じた俳優の山下真司さんをゲストにお招きし、ドラマの思い出やラグビーワールドカップ2019や日本代表に対する熱い想いを語っていただきました。

午後2時から、スーパーラグビー「サンウルブズ対ストーマーズ」戦のパブリックビューイングで楽しみました。サンウルブズは、序盤の劣勢を跳ね返し終了間際に見事逆転で2連勝を飾り、試合をご覧になっていたお客様も大変盛り上がったところでした。

会場には、食ラボ大分の皆さんが提供する旬の大分の食材を使った料理やお酒もたくさん並んで、試合観戦の傍ら食事を楽しむ観客もたくさんいました。

今後もラグビーワールドカップ2019の大会本番に向けて、色々なイベントで盛り上がっていききたいと思います。



【ラグビーワールドカップ2019推進課】



**Pick Up!** 大分の「今」

# 県内の出来事（5月）

News

## 【5月12日(土)】赤ちゃんザル「ソダネ」

大分市の高崎山自然動物園は12日、今年初めて生まれたの赤ちゃんザルを「ソダネ」と命名しました。同園ではその年に初めて生まれる赤ちゃんザルの名前を毎年一般公募しており、今年は1,517票の応募がありました。最多票は「ユヅル(ユズル)」でしたが、メスであるため、獲得票数2位で、平昌五輪で銅メダルを獲得して日本中を沸かせた女子カーリングチームの口癖にちなんだ「ソダネ」を選びました。

また、ソダネが生まれた同じ時期に元C群のボスザル「ゾロメ」が死んでいたことが分かりました。死因は老衰とみられています。

News

## 【5月18日(金)】フェンシングエペ日本代表 日田でキャンプ決定

フェンシングのエペ日本代表が2020年東京五輪の事前キャンプを日田市で実施することが決まり、日本フェンシング協会と県協会、県、日田市は18日、協定を交わしました。フェンシングでは練習相手を確保するため、複数の国・地域の選手が合同キャンプをするのが一般的であり、20年も各国合同になる可能性が高いとのこと。東京五輪・パラリンピック関連で県内での事前キャンプが決まったのは、フェンシングのサーブル日本代表(大分市)、パワーリフティングのラオス代表(別府市)に続いて3例目です。

News

## 【5月28日(月)】県内梅雨入り

大分地方気象台は28日、県内を含む九州北部地方が梅雨入りしたとみられると発表しました。平年より8日、昨年より23日早い梅雨入りとなりました。大雨による土砂災害が懸念される時季となり、注意が必要です。

※国際政策課にて新聞等を元に作成

## 海外大分県人会交流掲示板



ロサンゼルス大分県人会の會田裕二会長様より、9県人会合同イベントのご報告をいただきました！

5月20日に、今年は9県に増えた合同イベントがありました。9県合同で、トーランス市のウィルソンパークでピクニックが開催され、165名の参加がありました。大分県からは、16名の参加でバーベキューやゲームなどを楽しみました。



# From our Reporters

## 県の国際交流員が、旬なOITA情報をお届けします。



金 眞雅  
(Kim Jina)

高校生の頃、日本人の友達が欲しくてペンパルサイトで日本人の友達を作りました。当時は翻訳機を使いながら連絡を続けていましたが、その後はお互い韓国や日本で会ったこともあります。

今回はその友達が十分に遊びに来るといふことで、湯布院と別府を案内しました。湯布院では金鱗湖まで散策して、別府では地獄巡りとひょうたん温泉へ行きました。ひょうたん温泉の砂湯は自分で掘って砂をかける方式なので、掘れば掘るほど汗がでて、砂をかける前なのに汗まみれになっていました。また、とり天もおいしく食べてくれましたが、名古屋からきたので、さすがに味噌汁はうすいと言っていました。でも、湯布院の風景と別府の砂湯がとても良かったと満足げな顔で帰りました。



シェリダン・ミキシック  
(Sheridan McKisick)

今月、両親が私を訪ねて日本に来ました。両親は日本に来たことがなかった母はアメリカ以外で旅行をしたことがありませんでした。日本まで来てくれてすごうれしかったです。東京に着陸してから大分に移動して4日間を一緒に大分に過ごしました。大分にいる間に、両親を別府に連れて行きました。地獄巡りに行ったり地獄蒸しを食べたり足湯に入ったりすることができました。両親は「おんせん県おおい」の意味が分かってきたと思います。両親の意見では、大分はとても面白い場所で旅行を十分楽しめたとのことでした。



セーラ・バックレイ  
(Sarah Backley)

ラグビーワールドカップ日本大会まで500日を切りました。これを祝って、5月19日(土曜日)に「大分ラグビーミニファンゾーン」が大分駅前で開催されました。世界料理を提供した飲食ブース、ワールドカップ情報ブース、山下真司さんのトークショー、ラグビー体験コーナー等の様々なものがありました。一日を超えて、約1500人が訪れました。

私は遊具の担当をしていたので、子供達とラグビーボールを投げる練習や空気で膨らませたジャンプキャスルで遊びました。ラグビーの試合を実際に見たことがない人向けに、日本対南アフリカのスーパーラグビーの試合もライブで放送されました。現在最下位の日本は、この日は最後の最後にキックを入れて、見事に勝ちました！私も知らないうちに、スクリーンに向かって大声で応援していました。このようなパブリックビューイングは来年のワールドカップに向けて、大分の人々を盛り上げるために非常に効果的だと思います。



方 応梅  
(Fang Yingmei)

今回、別府市の竹細工伝統産業会館に行ってきました。会館は日本の竹資源の有効活用と伝統技術の保護や育成に取り組んでおり、実用性や造形美を備えた竹工芸品がいっぱい並べてあって、とてもきれいです。

また、入賞した作品とその作者の実績も展示されていて、別府市の竹細工の歴史の重さと長さがしみじみ感じられ、本当に感服しました。一階の入り口の傍にカフェがあり、二階には竹の体験教室があります。体験後、お疲れになったら、カフェで何か飲んだら気持ちが爽やかにになりますから、日本人の思いやりが本当に行き届いていると感じました。私たちは竹で四海波という花籠の作り方を体験してみました。自分の手で籠を作ることが初めてなので、大変楽しかったです。皆さん、ぜひ会館にきて竹細工の作り方を体験してみてくださいね。非常に面白かったです。



### ～編集後記～

世界温泉地サミットが開催され、国内外の参加者からの発表やディスカッションが活発に行われました。サミット宣言に基づき世界の温泉地が温泉の多様な活用を促し各温泉地の連携を進めていくことが期待できます。ラグビーワールドカップも開幕が1年半後に迫り、大分市・別府市が5カ国のキャンプ地に内定するなど、今後は観光PRも含めてさらに準備が加速化していきます。その他の国際交流事業なども活発化しており、これからのWhat's upでは、これまで以上に様々な国の方々とのお交流をお届けできるとお思いますので楽しみにしてください。

(国際政策課長 徳野 満)

### 話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大大分関係者に紹介したい話題をお寄せください!  
(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:小野  
【Mail】 [a10140@pref.oita.lg.jp](mailto:a10140@pref.oita.lg.jp)